

プロジェクト名	イギリス・ロマン派における恋愛詩の多義性とイタリア		
プロジェクト期間	平成 22 年度		
申請代表者 (所属講座等)	後藤 美映 (英語教育講座)	共同研究者 (所属講座等)	なし
取組方法および 取組実績の概要	<p>このプロジェクトを遂行するにあたって、取り組みの大きな柱となるのは、文献の収集と論文執筆である。まずは、18世紀後半から19世紀初頭の第一次資料の収集を他大学への文献複写依頼や貸借依頼を通じて行った。また同時に、最新の研究動向を研究するための第二次資料となる図書や海外の大学の博士論文を購入した。これらの資料を基に論文を執筆し、学会のシンポジウム（日本英文学会九州支部大会 於九州大学）で口頭発表を行った。この発表での成果を基に、イギリス・ロマン派文学研究会発行の論文集（共著・査読あり）に投稿し、採択され、論文は2011年5月に著書として出版される予定である。さらに、この研究を発展させるために、早稲田大学にて18世紀から19世紀初頭の第一次資料の収集を行った。また、このプロジェクトの要となる、イギリス・ロマン主義時代のイギリスとイタリアとの結びつきを研究するための必須文献となる全集を購入した。これらの資料を基に2011年7月に開催される国際学会に申請し（査読あり）採択された。</p>		
研究成果の概要	<p>この研究の成果は、イギリス・ロマン主義時代におけるダンテ流行の歴史的経緯を概観し、ダンテを受容したロマン主義時代の美学的主潮を明らかにしたことである。具体的には、ロマン派の詩人たちが試みたダンテの『神曲』の翻訳、もしくは改作は、当時の文学的時流に乗った試みではなく、美学的、政治的な改革という果敢な試みであったということを論じた。そしてさらに、その改革は、当時自覚されつつあったイギリス文学の遺産という保守的なナショナリズムの考え方に脅威をもたらすコスモポリタンの改革であったことを明らかにした。この研究成果については、以下のような方法で公開した（もしくは予定である）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本英文学会九州支部第63回大会シンポジウム「どう読むか、イギリス恋愛詩」（於 九州大学、2010年、10月30日）においてシンポジアストの一人として「南の地からの愛の歌ーイギリス・ロマン派の恋愛詩における love の多義性とイタリア」というタイトルで口頭発表をした。 ・イギリス・ロマン派文学研究会論文集『イギリス・ロマン派のすがた（仮題）』（査読あり）に投稿し、採択された。この論文集は2011年5月に出版される予定である。 ・International Conference, Coleridge, Romanticism, and the Orient: Cultural Negotiations(16-18 July 2011 at Kobe, Japan)に申請し、採択された。 		
外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法について			
外部資金獲得 申請（予定）	科学研究費補助金	研究成果の 公表方法（予定）	国内学会で発表予定